

令和4年度決算

ふるさと納税

問 納税額の実績と県内の順位は。また、国のルール改正に伴う今後の対応は。

答 目標は達成しているが、県内順位は変わらず下の方である。今後納税額が増えるよう、国の基準の範囲内で返礼品の発掘やPRを行っていききたい。

DX推進

問 統計電算係とDX推進係を一本化しては。

答 一本化するか別々にするかは一長一短あり、結論は出でない。

問 オンライン化やDXなど、事務の効率化につながっていると思うが、ペーパーレス化の実績は。

答 数値化はできていないが、日常業務での紙の印刷はかなり減ってきている。

防災備品



問 賞味期限が近い備蓄品は。防災訓練や各学校に配るなど、機会を捉えて町民の皆さんにお渡ししている。

答 備蓄品の保管場所が課題とあるが、備蓄品も多種多様となり数量も増加している。各課に問い合わせをしているが具体的に保管場所は決まっていない。

防災士養成事業

問 取得者の比率が男性に偏っているため今後女性の割合を増やす方法を検討とあるが、高齢化や地域の自主防災組織との連携も課題ではないか。

答 高齢化により活動が難しい防災士もいる。世代交代の意味でも一定数が必要。総合防災訓練では防災士がブースリーダーとして参加している。自主防災組織との連携については検討する。令和4年度に伊予高生6名が取得した。



伊予高防災士誕生！！

マイナンバーカード

問 コンビニでの各種証明書交付はコスト高になるがどう考えているのか。

答 国策としてマイナンバーカードを進める以上、経費は利便性との引き換えだと考える。

券面イメージ



表



裏

参考

令和5年8月末現在のマイナンバーカード交付率は80%

